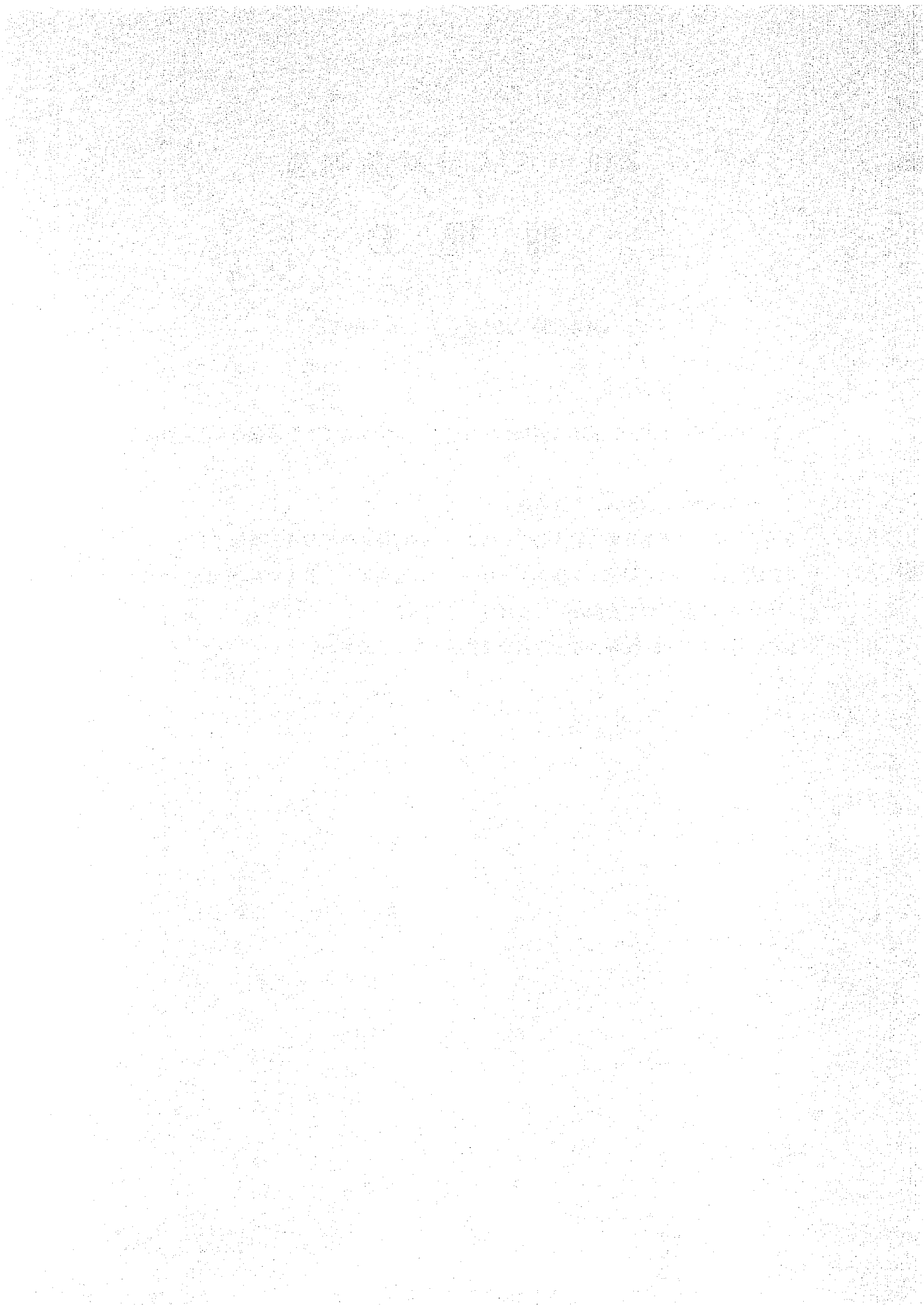


2019 年度 入学 試験 問題

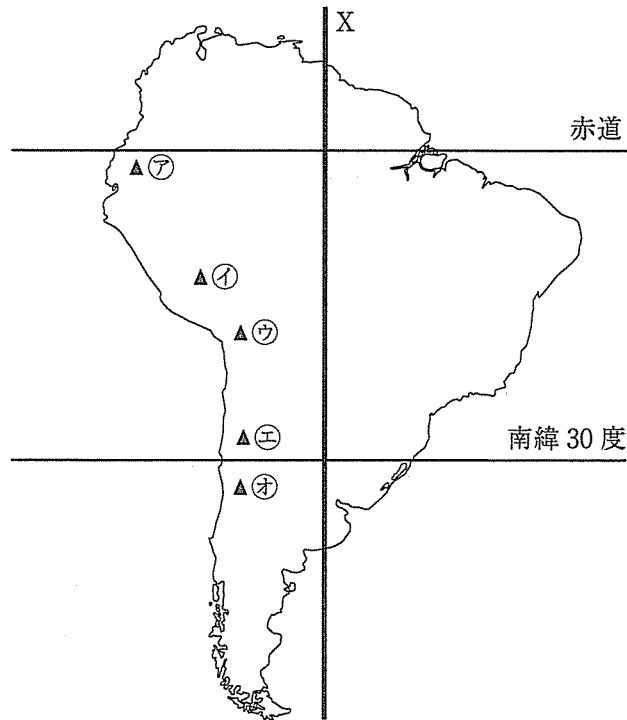
地 理 B

(試験時間 10:30~11:30 60分)

1. この問題冊子が、出願時に選択した科目のものであることを確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、記述解答用紙のみです。
3. 解答は、必ず解答欄に記入してください。解答欄以外に書くと無効となります。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。
5. 解答用紙には、受験番号と氏名を必ず記入してください。



I 次の地図と文章は南アメリカ大陸に関するものである。以下の問1～問5に答えなさい。(30点)



南アメリカ大陸はパナマ地峡以南にあり、大陸の太平洋側には環太平洋造山帯の1つである、(i)アンデス山脈が南北に連なる。同山脈の西側の海岸部にはペルー海流の影響を受けて形成された(①)砂漠があり、南東側には乾燥した台地のパタゴニアが広がる。

アンデス山脈を源流とし、南アメリカ大陸を横断して大西洋に注ぐアマゾン川の流域は(②)と呼ばれる熱帯雨林が分布している。その北側の(③)高地には垂直に切り立ったテーブルマウンテンが多く、鉄鉱石をはじめとする地下資源が存在している。一方、アマゾン川の南側に広がる(④)はサバナの植生がみられ、主に牧畜用地として利用されてきたが、近年では大規模な農地開発が行われている。

南アメリカ大陸は、フランスが領有する(③)を除いて(⑤)か国で構成されている。(A)では豊富な鉱産資源を用いた工業が発達し、世界最大の生産量の銅鉱をはじめ、リチウムやモリブデン鉱の生産が多い。またブドウなどの果樹栽培や水産業も盛んである。

(B) は O P E C の原加盟国であり、世界有数の可採埋蔵量がある石油の生産が国内経済を牽引しており、ボーキサイトや天然ガスも豊富である。なお、(A)、(B) ともヨーロッパ系の白人と先住民との混血である (⑥) が人口の過半を占めるという特徴がある。

(C) では鉄鉱石の産出のほか、輸入代替型の工業化による自動車の生産台数も多く、さらに近年では航空機や先端技術産業も盛んとなっている。(C) は、(ii) 世界的な農業大国でもあり、様々な農産物を輸出している。 同国の北部や北東部には (⑦) と呼ばれる大土地所有制が残っており、ここでは農園主を頂点とした社会経済階層が形成されている。

(D) は農業国であり、国土の大半を占める平坦な温帯草原の (⑧) では牛や羊が飼育されており、また小麦の生産も盛んである。(D) の経済は安定しており、2017年の1人当たりGDPは南アメリカ大陸では最も高い水準にある。

問1 地図中のX線は西経60度を示す経線である。この経線が通る国は南アメリカ大陸では何か国あるか。その数を下記のa)～e)から1つ選び、その記号を答えなさい。

a) 4か国 b) 5か国 c) 6か国 d) 7か国 e) 8か国

問2 下線部(i)に関して、地図中の㊶～㊸はアンデス山脈にある6,000メートル級の山を示している。このうち、南アメリカ大陸で最も標高の高い山を選び、該当する記号を答えなさい。

問3 下線部(ii)に関して、(C) が輸出する農産物のうち、2015年で最も輸出金額が大きい作物は何か。その作物名を答えなさい。

問4 文章中の (①) ～ (⑧) に入る最も適切な語句や数値を答えなさい。ただし、同じ番号には同じ語句や数値が入る。

問5 文章中の (A) ～ (D) に入る国名を答えなさい。ただし、同じ記号には同じ国名が入る。

Ⅱ 次の文章はイギリスの繊維産業に関するものである。以下の問1～問5に答えなさい。(20点)

天然繊維は絹織物、(1) 織物、毛織物そして綿織物の4つに分類することができる。イギリスにおいては中世から18世紀前半まで毛織物産業が最も盛んであった。(2) 山脈の東部にある⁽ⁱ⁾ヨークシャー地方では、資本家が賃金労働者を雇用し組織的に生産する生産形態により、毛織物が生産され発展してきた。毛織物はイギリスの主要な輸出品の1つともなったが、高温多湿の国や地域では受け入れられなかった。

これに対して綿織物は次の経路で発展してきた。17世紀から⁽ⁱⁱ⁾インド産の綿織物がイギリスに輸入され、イギリスの消費者に大いに受け入れられた。このため18世紀には綿織物への需要は増大し綿工業が国内で勃興しはじめた。そして国内の綿織物産業は、綿製品への大量の需要を賄い、さらにインドからの安価な輸入品に対抗するため、⁽ⁱⁱⁱ⁾生産工程を機械化し大量生産体制を確立する必要に迫られた。ここでは技術革新が大きな役割を果たした。(3) によって発明された水力紡績機は強い経糸の大量生産を可能にした。そしてクロンプトンによる(4) 紡績機は細くて強い経糸と緯糸を生産し単一機械で製造できるようにした。こうして生産工程において機械を導入し同質の製品を大量に生産する綿織物産業が確立した。そして綿織物産業はイギリスにおいて18世紀後半に始まった産業革命を主導することになった。産業革命が綿織物産業により促進された要因には、毛織物産業にあったギルドのような規制がなく、自由な競争が行われ、技術革新が進展しやすかったこともある。また綿織物産業は(2) 山脈の西部にある^(iv)ランカシャー地方で栄えた。その要因の1つとして、北大西洋海流と(5) の影響によって、この地方の(6) がヨークシャー地方より高いことが挙げられる。

問1 文章中の(1)～(6)に入る最も適切な語句を答えなさい。ただし同じ番号には同じ語句が入る。

問2 下線部(i)のヨークシャー地方において毛織物産業が発展した都市を下記の都市群から選び、その記号を答えなさい。

[都市群]

- (A)ブラッドフォード (B)バーミンガム (C)ブラックプール
(D)ブラックバーン

問3 下線部(ii)のインド産の綿織物は、その製品の輸出港にちなんで名づけられている。その製品の名前を答えなさい。

問4 下線部(iii)に示される生産形態の名称を答えなさい。

問5 下線部(iv)のランカシャー地方においてマンチェスターは中心的な工業都市である。この都市は運河により（ア）川の河口にある港湾都市のリバプールと結ばれている。（ア）に入る河川名を答えなさい。

Ⅲ 次の文章と図はASEAN（東南アジア諸国連合）5か国の輸出構成の変化に関するものである。以下の問1～問3に答えなさい。なお、文章中の（A）～（E）は、図1の（A）～（E）にそれぞれ対応している。（30点）

ASEANは、東南アジア諸国の政治、経済、社会の相互協力組織として1967年に結成され、現在、10か国のメンバーによって構成されている。図1は、その中の5か国の1985年と2016年の2時点における主要品目の輸出額の割合を示している。

1985年時点では、5か国のいずれにおいても、食料品や原材料・燃料などの一次産品、その加工品が輸出品目のほぼ上位を占めていた。⁽ⁱ⁾これは、植民地時代の宗主国の産業・貿易政策からも影響を受けていたと考えられる。

1985年の（A）は、天然ゴム、木材、原油/石油製品、天然ガス、植物油に総輸出額の60パーセント以上を依存していた。しかし、工業化政策を推進した結果、2016年には、電気機械が3分の1以上を占める貿易構造に変化している。⁽ⁱⁱ⁾同国では、1981年に就任した（①）首相が、働き方をはじめとする経済発展のモデルを欧米よりも日本やアジアの先発国に求めた。

（B）は、1985年に、一次産品（天然ゴム、原油/石油製品）と機械関連品目のそれぞれを30パーセント前後ずつ輸出していた。1985年に機械関連の品目をこれだけ大きな割合で輸出していたのは、5か国の中で（B）だけである。2016年には、再輸出分も含まれているが、化学、機械関連の工業製品が約60パーセントに達し、同国の産業・貿易構造の一層の高度化を読みとることができる。立地に優位性を持つ同国は、⁽ⁱⁱⁱ⁾海運と空輸の面でハブ機能を有し、また、国際金融センターとしての役割も果たしている。

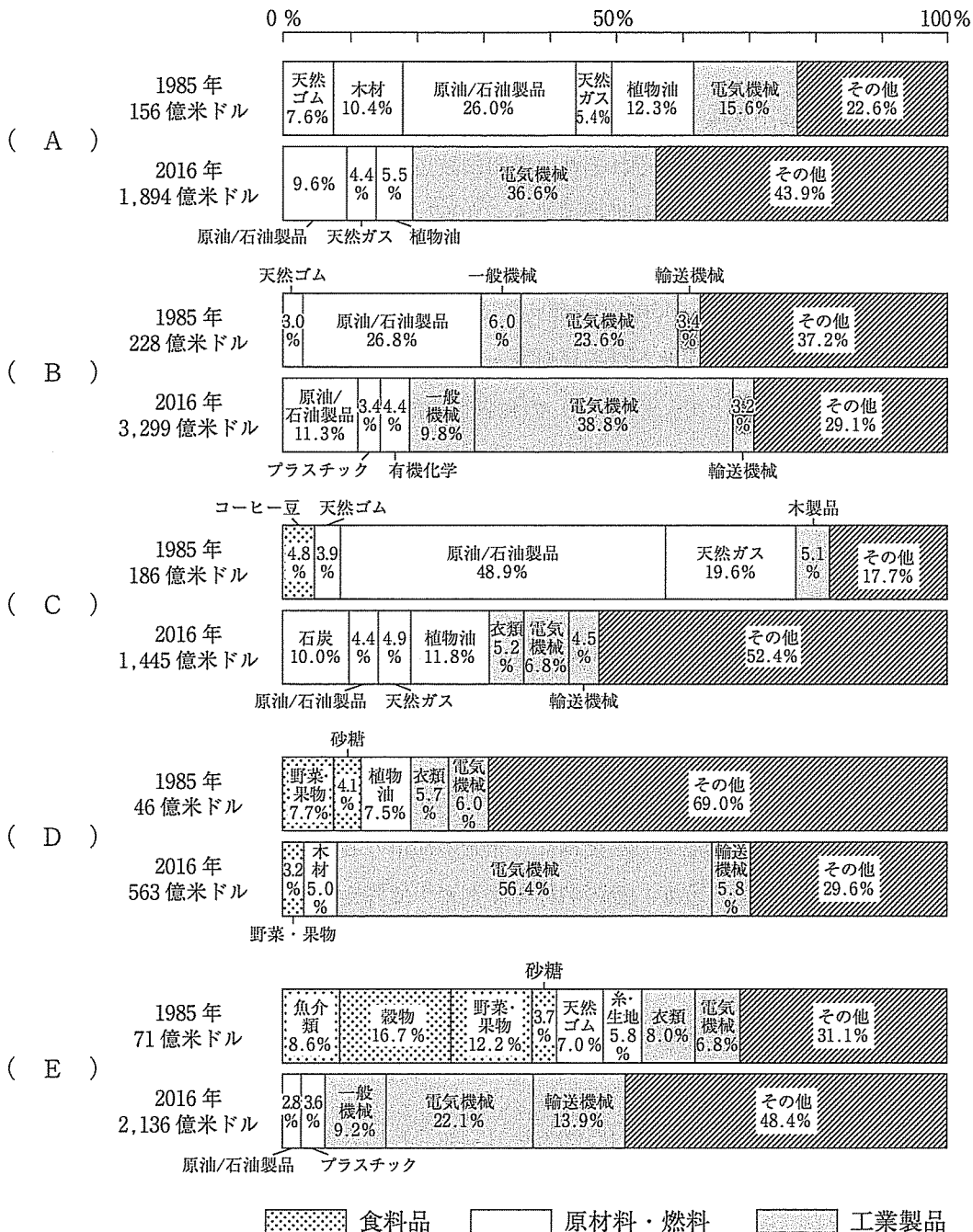
（C）の1985年の輸出額の割合をみると、コーヒー豆、天然ゴム、原油/石油製品、天然ガスが4分の3以上を占めていて、典型的な一次産品輸出国であったといえる。2016年は、1985年に比べると、原油/石油製品、天然ガスへの依存度が大幅に減ったものの、その代わりに石炭と植物油が主要輸出品目として登場している。1998年まで約30年にわたって続いた（②）大統領の時代やそれ以降の政権の経済政策、投資政策を通じて工業化を進めたが、他4か国に比べると、機械関連の輸出割合は小さい。

(D) は、1950年代から1960年前後まで、東南アジアの中でもっとも経済発展の進んでいる国の1つであった。しかし、1965年から1986年までの20年間以上続いた(③)大統領の独裁体制のもとで工業化がうまく進まず、1985年は、野菜・果物、砂糖、植物油が主要な輸出品目であった。しかし、その後、政治体制も変わり、2016年には、電気機械が総輸出額の56パーセント超、輸送機械が6パーセント近くを占めるまでに工業化が進展した。

1985年の(E) は、魚介類、穀物、野菜・果物、砂糖、天然ゴムを合計すると総輸出額の50パーセント近くに達し、農業大国であったことがうかがえる。2016年は、機械関連(一般機械、電気機械、輸送機械)の輸出割合が45パーセント程度になり、工業化の大幅な進展が読みとれる。^(iv)東南アジアの中では、自動車産業の生産拠点としての役割を演じている。

上記で確認した、1985年と2016年の5か国の輸出額の構成割合の変化は、それぞれの国の積極的な外国資本誘致政策や^(v)域内における貿易促進の取り組み等を通じた国際的生産・流通ネットワークの形成による、工業製品の工程間分業によるところが大きいといえよう。

図1 ASEAN 5 国々の1985年と2016年の輸出構成（金額ベースの割合）



注：食料品，原材料・燃料，工業製品に分類される品目でも輸出額の割合の小さいものは，その他に含まれている場合がある。

資料：United Nations, *UN Comtrade Database* (online), (2018年4月5日取得)。

問1 文章中および図1の(A)～(E)に入る国名を答えなさい。ただし、同じ記号には同じ国名が入る。

問2 以下は、文章中の下線(i)～(v)に関連した設問である。それぞれに答えなさい。

(i) 下記(ア), (イ), (ウ)それぞれの説明に該当する宗主国の国名を答えなさい。

(ア) (A) を19世紀前半から1957年まで、一時期を除いて支配していた。

この宗主国の支配をきっかけに、(A) は多民族国家化していく。

(イ) (C) を300年を超えて支配していたといわれている。19世紀には、この宗主国がサトウキビやコーヒーなどの作物を宗主国向けとして強制裁培させたことで、(C) の食料自給能力を低下させたと考えられる。

(ウ) (D) を1898年までの約300年間にわたって支配した。この宗主国の統治制度が、(D) の現在の資産格差、所得格差にも影響しているといわれている。

(ii) (A) は、働き方をはじめとする経済発展のモデルを欧米よりも日本やアジアの先発国に求めたが、この政策の名称をカタカナで答えなさい。

(iii) (B) の国際空港は、東南アジア地域のハブ空港として機能している。この空港の名称を答えなさい。

(iv) (E) は東南アジアにおける自動車産業の中心地である。同国は、そのため、自動車産業で名をはせた先発の都市の名前を借りて、東洋の何と呼ばれているであろうか。その名称をカタカナで答えなさい。

(v) ASEAN域内の貿易を拡大するための自由貿易協定で、1992年のASEAN首脳会談において設立が合意され、1993年に発足した。この協定の名称を欧文略称で答えなさい。

問3 文章中の(①), (②), (③)に入る人名をカタカナで答えなさい。

IV 次の文章は都市問題に関するものである。以下の (①) ~ (⑩) に入る最も適切な語句を答えなさい。ただし、同じ番号には同じ語句が入り、④と⑥以外の番号にはカタカナで答えなさい。(20点)

20世紀後半以降の世界の大都市の人口増加をみると、パリやニューヨークのように早くから都市化の進んだ都市より途上国の都市の方が急速に増加している。そのため、電気や水道といった生活のための基盤である (①) の整備が追いつかず、居住環境が劣悪になりやすい。途上国では、人口の増加や農村での余剰労働力の増加によって、農村から都市への人口流入が激しくなった。しかし、急激に発展した都市では、そうした労働力を吸収できるほど工業化は進まないため雇用機会も少ない。人々は、露天商や自転車タクシーの運転手などの (②) セクターとよばれる不安定な職業に就くことを強いられ、劣悪な居住環境の (③) が生まれる。しかし、発展途上国の中には、国内経済の停滞による資金不足や先進国の金融機関、国際通貨基金 (IMF) などの国際機関から借り入れた資金が (④) となり、 (①) の対策が十分に進まない。

先進国でも、新たな問題が起こっている。都市中心部での環境悪化によって中高所得層の人々や工場が郊外に移転することから、中心部が空洞化・荒廃する (⑤) 問題が顕在化する。その解決策として、都市機能の分散や都市の特徴を活かした (⑥) が進められている。代表例として、パリ郊外に副都心として開発された (⑦) 地区や港湾地区の (⑥) として知られるロンドンの (⑧) などがあげられる。いくつかの都市では、老朽化した住宅や工場・操車場などの施設を取りこわして (⑥) を行い、跡地に新しい商業施設や高級な高層住宅を建設することで、比較的豊かな人々が流入する (⑨) とよばれる現象がみられる。また、EUにおいても都市問題への対応が共通の課題とされ、1992年の地球サミットでも中心的な理念の1つとなった (⑩) を重視する都市のコンパクト化などの都市政策が提起されている。

